

さとう由美

Passion

「一人ひとりの声をカタチに」
一部の声が全体の声とすり替えられている政治、
これで良いのか、と立ち上がりました。

さとう由美は、届けるべき声を届け、実現するその責務を痛感し、
活動してまいりました。原点に立ち、子ども達に希望のある社会を
引き続くために、行動しています。

ともに
新しい未来へ
～自由・公正・共生～

Policy

歴史の「もし」は、
一人の人生の
「もし」である
これが私の政治の
原点です。

私は、大学卒業後、法律相談の現場で仕事をしてきました。
倒産件数、自己破産件数が急増した2000年代、次から次へと相談者が後を絶たない。蛇口を止めなければならない、構造を変えなければならない、そう思いました。
政治では「改革に痛みはつきもの」との言葉が放たれていました。ガラスの天井の上で、現場の実感もなく決められていく。一体何のための行政か政治か。親世代そしてその上の世代の経験は私に大きな影響を与えてきました。

**政治の決断は、一人ひとりの人生を左右します。その重さを肝に銘じ、政治は執り行われなければなりません。
これが、私の政治の原点であり、ゆるがない姿勢です。**

プロフィール

元都議会民主党副幹事長、厚生委員会・都市整備委員会・総務委員会副委員長。

1972年1月東京生まれ。O型やぎ座。

都立戸山高、京都大学法学部卒。

(財)法律扶助協会入局、日本司法支援センター(法テラス)にて、誰も泣き寝入りすることがないように、法律問題解決の個別支援と司法制度改革に取り組み10年。

2009年都議初当選。「一人ひとりの声を形に」を掲げ「一人ひとりの政治参画」「多様性ある活力ある社会」「開かれた外交・平和」を目指し、社会課題・構造変化に応じて施策を転換。子ども達に希望ある社会を引き継ぐため、活動を進める。

2018年英国ブリストル大学院公共政策修士取得(MSc Public Policy, University of Bristol, UK)。

母としても奮闘中。

趣味

読書、スポーツ、旅行、バイク、陶器、庭園、建築・都市デザイン巡り。

好きな言葉

"I have a dream"

努力は全ての扉を開く。

力なき正義は無力であり正義なき力は圧制である。

"You deserve success and happiness.
Be positive and cheerful."

"Where there's a will, there's a way."

"There is always light behind the clouds."

Vision

さとう由美とともに創る未来

「一人ひとりの声をカタチに」

皆さん、一人ひとりが直面する問題は単なる個人の悩みではなく、社会の課題であり、皆さん、一人ひとりの積み重ねが社会にうねりを起こすと思います。さとう由美を後押しください。

今、政権は、政策の結果が社会に与える影響に対してあまりに鈍感です。停滞をした日本は、自然に発生したものではありません。そして、光が当てられない領域で、制度の谷間に陥っている人々も多くあります。あるべき未来とビジョンを描きつつ、現在の実態を踏まえ、具体的な政策を立ち上げ、決断をすることが政治の責務ではないでしょうか。誰しもが、その人らしく生きられる社会を。利権を分配するだけの政治でもなく、劇場型の政治でもなく。皆さんの生活実感、現場の声を踏まえ、政策を立ち上げ、課題を解決し、前へと進める、**実務型の国政**に変えてまいります。



「政治参画・公正と自由」

一人ひとりが、「政治参画し決定できる社会」を創る

人は、生まれる時代、場所を選ぶことはできません。時代の選択を背負って限られた一生を生きるほかありません。そうであるからこそ、どういう社会に生きるのか、どういう社会を次世代に残していくのか、それぞれが政治参画して決定できることが不可欠です

「社会的包摂・平等、活力ある経済と充実した社会保障の構築」

一人ひとりが、その人らしく尊厳を持ち生きられる「多様性ある活力ある社会」を創る

どんな環境に生まれても、どんな状況においても、所得等に左右されずに、良質な教育・医療を受けられる状況を。また、ライフコースに左右されずに、質のよい住まいが確保されなければなりません。多様な生き方、格差拡大等社会構造が変化している中で、こうした人が生きて行くに不可欠なベーシックサービスについて、所得状況に左右されない状況を、

政府は早急に整える責務があります。加えて、グローバル社会の深化の中で奮闘している様々な個人や企業の展開を下支えする環境構築により、より活力も大きくなります。現在、国政は機能不全に陥っているのではないのでしょうか。実態を把握した上で、具体的で的確な政策を提言し実行するという政府のあるべき機能の回復させなければなりません。

「国際平和・危機管理と人間の安全保障」

一人ひとりが、可能性を追求し選択できる「開かれた外交・平和」を創る

国際平和について、長年の懸案である極東地域での平和や歴史認識の統合は我々世代で終焉させ、未来へ宿題を先送りさせません。また、中東・アフリカはじめ、地域紛争が多発する中で、日本は、国際社会の責務を積極的に果たすべきです。日本は難民の受入れについても、あまりにも消極的に過ぎるところです。グローバル社会が進化する中で、日々の食生活もエネルギーも、国際関係の安定の中で、私たちの暮らしが支えられています。地球儀全体を見渡し、国際平和を維持するために必要なことは何かという視点から、安全保障を進めていくべきです。

衆議院 東京都第24区 総支部長

さとう由美

ご意見ご要望は

連絡先 教育無償化を実現する会 東京都第24区総支部 / さとう由美とともに未来を創る会

〒192-0046 東京都八王子市明神町2-25-3 SICビル501

E-mail info@sato-yumi.jp URL <http://sato-yumi.jp/>

TEL 042 -649 -1644 FAX 042 -649 -1744



@yumibetterworld

Yumi Sato